

令和6年6月25日(火)

第2回 学校運営協議会議事録

- 1 校長あいさつ
- 2 授業参観(3~6年生)*別紙参照。
- 3 説明「本年度の主な行事・教育活動について」(校長)
- 4 分科会及び分科会の振り返り

A班

- ・ 業務改善のために、委託できる業務があるか議論。事務作業、備品関係、会計関係、電話番、机から離れない事務員配置。業務支援員の時間を放課後に特化する、等。
- ・ 栄養教諭の配置。各校1名配置へ。アレルギー対応の増加。

B班

- ・ 教育業務支援員、ユースサポートによる業務委託ができるようになった。
- ・ 学童保育指導員との連携が取れ、児童指導に生かしている。
- ・ 帰宅時間が遅い。業務量の軽重。早く帰りづらい雰囲気。授業研究への時間を確保したい。

C班

- ・ 子供に対してやりたいことが施せていない。事務量が多い。仕事の全体量が変わっていない。家庭で仕事、休憩時間が取れないが多い。→登下校や休み時間の見守り、登校班編制を地域にお願いできないか。

D班

- ・ 働き方改革。校務分掌の集中、偏りがある。
- ・ 曜日による日課の違い。
- ・ 登校班編制を地域に。(石小、古山小を選べる地域もある。)
- ・ 保護者の啓発。保護者同士の関わり場。→学校運営協議会の協力を得たい。

(教頭) 登校班の話題は前年度も。本校学区内で育成会はなし。自治会のないところも。

(中川会長) 自治会加入6割。学校と家庭しかない。課題解決の場が学校に押しつけられている。手のかかる子供も増えてきた。いじめの問題も。保護者、地域の人が学校に来る機会を増やせるとよい。

(青木) 登校班。自治会で決めるところが多いとのこと。段階的に自治会等へ移行できないか。

(中川会長) 以前は育成会主催のバレーボール大会もあったが。受け皿がないことには難しい。

(桜井) 登校班での教員の大変さを知らなかった。

(伊澤) 夫が自治会長をしている。即答はできないが、地域理解は自治会長の立場でも難しい。

(中川会長) 自治会長に話をしてみるのもよいのではないか。できる方法を模索していきましょう。

(大古) 民生委員に協力を得る方法も。

(熊倉) *別紙参照。

- 5 閉会